

全国商工新聞

長岡版

一発行編集一
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2020年
4月20日
第2001号

新型コロナウイルス対策 資金繰り・納税緩和など 民商に相談を

長岡市に新型コロナウイルス対策の要望書を提出 特別融資・補助金・納税緩和の拡大を求める

新型コロナウイルス感染症の拡大は日本経済にリーマンショックを超える深刻な影響を及ぼし、中でも中小業者には大打撃を与えています。長岡民商にも「先週はお客さんが全く来なかった」（飲食）、「予定していた工事が白紙になった」「元請の意向で現場がストップした」（建設）、「注文が全くない」（製造）など多くの切実な訴え・相談が相次いでいます。

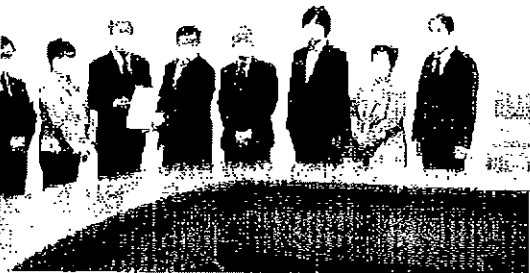
4月9日、長岡民商は日本共産党中越地区委、同長岡市議団、遠藤玲子県議らとともに、長岡市へ新型コロナウイルス対策の要望書を提出、水澤千秋副市長、商工部長、福祉保健部長ら市幹部と懇談しました。長岡民商からは金内、星野の両事務局長が参加しました。

要望書は経済対策、「医療崩壊を招かない」対策、雇用への支援、児童・生徒への支援など多岐にわたり、30項目を超えるものとなっています。経済対策では消費税5%への減税を国に要望すること、市の特別融資を拡充すること、売上が急減・激減しても支払わなければならない家賃やリース料等の補助を行い、国に財政支援を求めること、市税等の納付猶予や減免を行うこと、県や国に社会保険料等の納付猶予や減免を要望することなどを求めています。

齊藤地区委員長は冒頭、要望書の主旨を説明し、「自粛と補償はセット」で行うことこそ感染予防につながると強調しました。

遠藤県議は自身でヒアリングした医療現場の、院内感染等に対する不安の声を紹介し、医療崩壊を招かないための対策を要望しました。

長岡民商からは、金内事務局長が「民



商会員から現在多くの相談が寄せられており、今後も増加する。中小業者への支援を切にお願いする」「市の特別融資枠が拡大したが、希望する全業者が活用できるよう、また、希望額の満額融資をお願いする。スムーズな融資を、そして、市税の滞納があっても融資が受けられるようにしてほしい」と求めました。

対応した水澤副市長は、市の特別融資を最大8千万円・返済10年に拡大、小口資金の信用保証料の100%補助、市税の納付猶予などを実施すると答えました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は全業種に及び、長期化することが予想されます。したがって、現在は大きな影響がなくなるとも、

2、3か月先には非常に厳しい状況に追い込まれることも考えられます。資金繰りや納税に困ったら、民商にご相談ください。また、業者仲間やお知り合いには「民商を紹介するから、相談するといよい」と声をかけてください。新型コロナウイルスの影響から営業と暮らしを守るため、力を合わせましょう。

知恵を出し合い、新型コロナウイルスを乗り越えましょう。



消費税の相談対策

長岡市 事業者向け「総合相談窓口」開設

長岡市は拡大する新型コロナウイルスの影響に機動的に対応するため、4月13日、事業者向けに「コロナ対応総合相談窓口」を開設しました。制度融資や補助金、予防や従業員が感染した場合の対応など、市内業者の事業継続のために設けられた窓口となります。長岡民商への相談ととも、ぜひ利用しましょう。

【時間】午前8時30分～午後5時15分(平日のみ)

【場所】大手通庁舎6階 商工部産業支援課内

(長岡市大手通2-16)

【内容】専門相談員(社会福祉労務士など)による国や市の支援制度の活用をサポート。

【連絡先】電話0258-339-2222